

令和 3 年度 墨田区立 柳島幼稚園 経営報告書

令和 4 年 3 月 15 日

幼稚園目標	◎心の豊かな子供(今年度の重点) ○健康でたくましい子供 ○自分で考え、行動できる子供
目指す幼稚園像	・笑顔で登園し、満ち足りた気持ちで家路につく園（子供・教職員・保護者・地域）
目指す園児像	・自然や人との関わりを通して、人の気持ちが分かる思いやりのある子供 ・体を動かす心地よさや楽しさを感じ、すすんで遊ぼうとする子供 ・素直に自分をあらわし、思いや考えを大切にし、やり遂げようとする子供
目指す教師像	・一人一人の幼児理解を深め、一人一人の育ちを中心に据えて考える教師 ・誠実かつ謙虚に保育の質の向上にたゆまぬ努力をする教師 ・広い視野をもち、家庭・地域と連携して園運営に参画する教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
保育活動等	園は、子供の主体的な活動を促す教育の実施に努めているか。	A	・コロナ禍でも、園の特色や環境を活かし、遊びや体験の場の充実を図り、園児の主体的な活動を創意工夫し充実させていく。	A	A
	園は、特別な支援を必要とする幼児に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	・日常の保育を通して実態把握に努め、介助員や学校支援員と連携を密にとり、よりよい支援の共通理解、共通実践に全職員で努める。	A	A
	園は、幼児の将来の自立に向けた保育活動・相談活動に取り組んでいるか。	B	・併設小学校（柳島小学校）と連携した交流が、新しい生活様式の中で制限されたが、動画を活用した交流など工夫し、実践し続ける。	B	A
	園は、教員の指導力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	・墨田区教育委員会研究協力園での研究成果を、園内研究でさらに充実させて、実践を深めていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	小学校との交流活動を工夫しながら進めているので、継続してほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	園は、幼児の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	・日常の保育活動や家庭、地域との連携の中で、早期発見、早期対応に努め、予防解決に向け、保護者と共に取り組んでいく。	A	A
	園は、幼児が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	・朝のあいさつは、よくできている。 ・遊びを通して、友達との関わり方を、日々経験している。今後も工夫し充実させていく。他学年との関わりも、できる範囲で実践したい。	A	A
	園は、幼児の安全を確保するための取組を行っているか。	A	・月に一回の併設小学校との合同避難訓練に、真剣に取り組んでいる。安全指導、安全点検も実施し、安全確保に努める。	A	A
	園は、幼児や保護者からの意見や要望を把握し、保育活動の点検や改善に役立っているか。	A	・保護者からの声を聞く機会を積極的に設け、機会あるごとに要望を把握し、改善するように、今後も取り組んでいく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	・あいさつは家庭地域でも根気強く声をかけ、充実させていきたい。			

様式 3

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
園の管理運営	園は、管理職の経営方針に基づいた、組織的な教育活動・園運営を行っているか。	A	・園経営方針に沿った個々の取り組み目標を設定し、組織で共有しながら、計画的な学級経営や保育実践を行う。	A	A
	園は、幼児の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	・日々の遊びや生活を通して、個々の実態把握を行い、実態に応じた具体的な目標の設定をし、適切な評価を行っていく。	B	B
	園には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	・今年度は、園舎外壁をリニューアルできた。 ・園内の自然環境や教育環境の適切な整備を行い、今ある環境を最大限に活かした保育実践を重ねていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	・園内の自然や遊具は、園児の遊びに有意義な環境となっている。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	園は、教育方針や日常の保育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	A	・園便りや学級便り、ホームページをさらに充実させていく。 ・登園降園時を活用し、保護者と情報共有し、共に育てていく。 ・担任による月一スライドショーや、ドキュメンテーションを通して、保護者に教育活動をわかりやすく伝えていく。	A	A
	園は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・今年度もコロナ禍で、例年行われている参観や、高齢者との交流活動ができなかった。だが、昨年と比べ、創意工夫しながら充実させることもできた。今後も創意工夫していく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・日々の園児の活動をわかりやすく伝える月一スライドショーや、保育ドキュメンテーションは、今後も継続してほしい。			

2 令和3年度学校評価のまとめ

<p>・新しい生活様式の園生活で、コロナ感染予防対策をしながら、今できる教育実践を全教職員と、保護者、地域の協力を得ながら模索してきた。保護者の協力はもちろんのこと、一人一人の園児が、マスクをきちんとつけ、遊びごとに手洗いをし、お弁当を静かに食べるなどして生活できた。そして、園児らしく遊びや活動を思いっきり楽しむ姿をいつも見ることができた。園に関わる全ての方のおかげでこの一年を充実させることができ、感謝の気持ちでいっぱいである。12月5日に柳島幼稚園開園50周年式典を無事開催できたことは、何よりの喜びである。</p> <p>・今後も、園評価の改善策を活かし、最善の教育実践を研究しながら、「笑顔で登園し、満ち足りた気持ちで家路につく」柳島幼稚園をつくる。</p>
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立 柳島幼稚園 園長 藤村 雅彦 公印